

非破壊試験機

PRO Tester TR-150

アンカーボルト引抜荷重確認試験機

取扱説明書



適合サイズ

M6～M24

W1/4～W7/8



株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号
(TEL) 072-621-4164 (FAX) 072-621-4166

目 次

1,	各部名称	P-1
2,	組立手順	P-2~3
3,	操作手順	P-4~6
4,	注意事項	P-7

※この取扱説明書は梱ソーキにて追記及び補足をおこなっています。

1, 各 部 名 称



- ① 専用ケース
- ② センターホール型荷重計 (TR-150)
- ③ 専用カプラ M6～M24、W1/4～W7/8
- ④ 専用ワッシャー
- ⑤ 寸切ボルト (M6～M16、W1/4～W5/8)
- ⑥ スパナ (36mm)、延長パイプ
- ⑦ デジタルプリンター付表示機
- ⑧ デジタルプリンター付表示機用ケース

2, 組立手順



- ① あと施工アンカーが内ネジの場合、
適合サイズのボルトをねじ込みます。
※ねじ込みが不十分であると、ボルト等の
ねじ山を傷める原因となります。



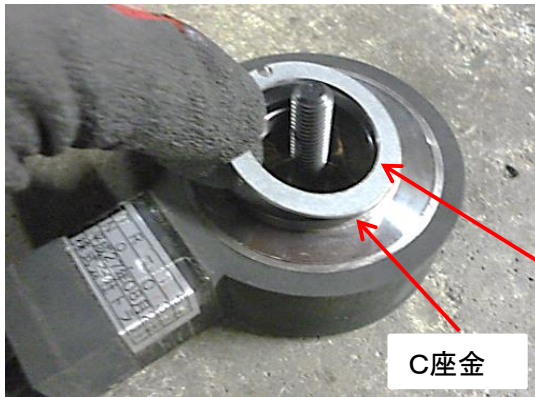
- ② 凸型座金を設置します。



- ③ 凸型の出っ張りに収まる様に
センターホール型荷重計を設置します。

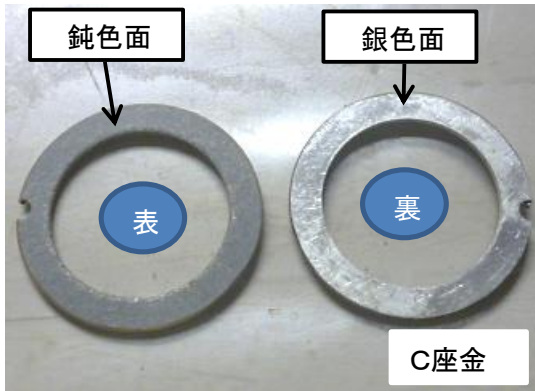


- ④ センターホール型荷重計の上に
B座金(厚みのある座金)を
置いてください。



- ⑤ B座金の上にC座金を置いてください。
(わからないときは下記の ※ をお読み
ください。)

注意
鈍色面が上面になる。



- ※ B座金の上に C座金の鈍色面を
上にして設置します。
鈍色面には滑り止め防止効果があります。
銀色面を表(上面)にして使用すると、
荷重計も一緒に供回りします。



- ⑥ カプラを設置します。カプラを設置
する際は必ず④と⑤で説明された座金を
間に挟んで下さい。

赤矢印の方向にねじ込んでください。

3, 操作手順



- ① デジタルプリンター付表示機の
入力コネクタにセンターホール型
荷重計が接続されていることを
確認します。



- ② 電源スイッチを[POWER ON]の位置に
合わせます。
※バックライト使用時は[LGT]
の位置に合わせます。



- ③ 電源を入れてから 15秒程度は
センターホール型荷重計認識中の為、
操作しないで下さい。
「----」と表示されたあと、「0.1」や「0.2」等の
数字に変化します。



- ④ 測定(荷重)値を設定する場合、
[設定値]ボタンを押します。

※ボタンは少し長めに押します。



- ⑤ 点滅している数字に対して
[ピークホールド]ボタンで右の桁に移動、
[ゼロ]ボタンで数字が増加します。

([印字](シフト)ボタンを押しながらの
操作で減数します。)



- ⑥ 測定(荷重)値を入力後は、
[セット]ボタンを押し、設定を
完了します。



- ⑦ [ゼロ]ボタンを押し、ゼロ設定をします。
表示部に「----」表示後、通常表示に
戻ります。
[ゼロ]ボタンのランプが点灯します。



- ⑧ 最大値の表示を保持する場合は、
[ピークホールド]ボタンを押します。
[ピークホールド]ボタンが点灯します。



⑨ スパナでカプラを締め付けて測定します。

設定値に達するとアラームが鳴ります。



⑩ [印字]ボタンを押し、測定データをプリントします。

※「Pr」・「PE」が表示される場合や
印字が薄い場合は新しい電池に
交換して下さい。

【主なプリンターのエラーコード】

コード	症状	解決方法
PE	プリンタエンド。記録紙がないか、バッテリー不足です。	記録紙を交換してください。記録紙がある場合は、電池の交換を行なってください。
Pr	プリンタエラー。ロックレバーが上がっているか、バッテリー不足です	上蓋を開け、ロックレバーを確認してください。問題がない場合は、電池の交換を行ってください。
IdEr	TEDS通信エラーです。	機能「F-7」が「0000」になっているか、接続に問題がないか確認してください。
Ad	センサケーブルが未接続です。配線を確認してください。	ケーブルの接続に問題がないか、接続を完了してから電源を入れているか、再度確認してください。

※解決方法を試みても解消されない場合、故障が疑われます。
直ちに使用を中断し、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

4, 注 意 事 項

- 1, 説明書をよく読み理解してから、ご使用ください。
- 2, 指定用途以外には使用しないで下さい。 損害・怪我を招く恐れがあります。
- 3, ロードセルのコード部分は持たないでください。破損の原因になります。
- 4, 故障や煙が出ている、または変な臭いや異常な音がする場合、ただちに電源を遮断してください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。
- 5, 内部に異物や水を入れないで下さい。万一異物が入ったときは、ただちに電源を遮断して下さい。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。
- 6, 引火性ガスまたは引火性蒸気がある場所で本器を使用しないで下さい。
- 7, 振動のはげしい所でお使いになる時はご注意下さい。
- 8, 運搬するときに落とすなど、強い衝撃を加えますと故障の原因となりますので、十分注意して下さい。

『確認荷重について』

あと施工アンカー引張試験での引張荷重は、それぞれの現場、または設計事務所によって多少異なる場合があります。

設定荷重値は設計事務所、または現場監督に確認した後、確認試験を行って下さい。

本機は非破壊試験機です。母材の破壊やアンカーボルトの破断等のないよう、加える荷重には十分注意してください。

TRをご使用になる前に必ずお読みください



I TR-30/75/150をご使用になる前に「F-7」の数字が「0000」であることを確認してください。

「0000」なら安全に試験ができます。

※表示が「0000」以外の場合は、

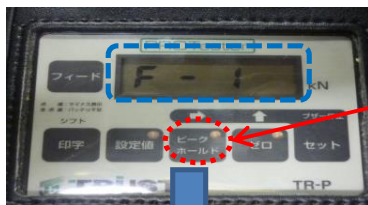
II へ進み再設定してください。



II 「F-7」を確認するときは、[セット]ボタンを

長押しすると、表示画面に「F-1」が表示されます。

※F-7以外は変更しないでください。



III 「F-1」の表示から、

[ピークホールド]ボタンを6回

押して、表示画面を「F-7」に

してください。

「F-7」が表示されたら、[セット]ボタンを

押してください。



IV 「1100」の「11」を「0」にして、

「0000」にします。

[ピークホールド]ボタンで右に進んで、

[ゼロ]ボタンで「0」にします。



V 「1100」の「11」はTR荷重計と接続したとき、00の場合は、自動的に設定が読み込まれますが、「11」の場合は自動的に設定を読み込むことを禁止するため、TRを使用される場合は必ず「0000」にしなければなりません。



VI 「0000」に出来ましたら、[セット]ボタンを押すと、「F-7」の画面に戻ります。

[ゼロ]ボタンを押すと、現在の荷重の表示画面に戻ります。



VII 一度電源を落として、再度起動させると、表示は接続している荷重計の画面になります。